



消防署 署長補佐 三谷 武

私は平成6年に消防署に配属され、そのうち約20年間、救急救命士として救急現場等で活動していましたが、現在は消防署長補佐として勤務しています。今後は隊員への人材育成やスキルアップを目指すことで、市民への安全が構築できると考えています。

私たち「消防士」の最終目標は「市民の生命および財産を保護する」ことです。厳しく過酷な場面にも遭遇すると思いますが、やりがいのある仕事であることはまちがいありません。

以前は消防士といえば男性！といったイメージですが、女性ならではの感性が現場で必要とされる場面があります。

男女問わず！消防職員を目指そうと考えている方！あなた達が未来の消防を担ってほしいと思います。私たちと共に、市民への安全安心のために働いてみませんか？一緒に勤務できる日を楽しみにしています。

### 業務内容

令和2年4月に発足した救助係は、現在6名が勤務につき、火災、交通事故、水難事故、地震や風水害等において、助けを求めている人がいればどのような災害であっても出場し、人命救助活動を行っています。災害出場していない時には、車両や資機材の点検整備、また、様々な災害に対応できるように訓練を行っています。

### 消防士として心掛けていること

勤務が24時間勤務のため、体調管理には気を付けています。また災害はいつ起こるかわかりません。現場で冷静に活動できるよう日頃から先読みし、行動することを意識しています。災害現場は常に危険と隣り合わせです。どのような災害現場にも対応できるように知識・技術・体力の錬成に努めています。



消防署 救助係 北野 弘喜



消防署 救急係 小西 純平

### 業務内容

救急車内の資器材点検から始まり、いつでも万全な態勢で救急現場に出場できるよう準備をしています。また、現場の数だけ状況は毎回違います。即時に判断する能力が必要なので、切迫した状況でも冷静に対応できるように訓練を重ねています。より良い活動ができるよう救急現場での活動を振り返ることも欠かさず行っています。

### なぜ救急救命士を目指したのか

消防士という職業に就いて数年が経ち、さまざまな現場を経験しました。ひとたび現場に出場すれば、切迫した状況に置かれた市民と必ず接触します。救急現場だけに限らず救命に関わる職種である以上、接触した市民の状態を医学的観点から観察する能力が必要不可欠であると感じ、救急救命士を目指しました。

接触した市民の状態を医学的観点から観察する能力が必要不可欠であると感じ、救急救命士を目指しました。



消防署 番の州分署  
大石 亮介

### 業務内容

私の一日は車両の始業点検に始まり、始業点検で終わります。なぜなら、私が勤務している番の州分署では3点セットと呼ばれる「大型高所放水車、大型化学車、泡原液搬送車」を配備しているからです。万が一の災害に備えて、普段から車両の整備を欠かすことはできません。また、積載備品取扱い訓練や地水利調査なども行っております。

### 消防士として心掛けていること

4月から後輩と勤務することがあるようになり、先輩として現場活動中は広い視野で物事を見ないといけないと強く感じるようになりました。また機関員として勤務しているので、普段から緊急車両の停車位置等を考えて日々の生活を過ごしています。

### 業務内容

情報指令課では、119番通報を受信し、通報者の情報などから判断して、必要に応じた部隊を出場させるのが主な業務です。通報者との会話を頼りに判断し、必要な事を聴取して現場活動する隊員がスムーズに活動出来るような情報を的確に伝えるよう努めています。

### 仕事のやりがい

大規模災害や台風などの自然災害時には、通常とは異なり多数の119番通報の入電が想定されます。そうした通報を短時間の間に緊急度別に選定し、効率的な部隊運用が行えるようになるため、日々研鑽しながら業務に従事していることにやりがいを感じています。



情報指令課 北谷 太宏



予防課 保安係 林 祐貴

### 業務内容

皆さんが想像する消防士の仕事は、災害が発生した時にいち早く現場に行き、直接人を助けるイメージが強いのではないのでしょうか。しかし、それだけではありません。私が担当している予防課の業務内容は、事業所へ行き検査を行ったり、施設ごとに最適な消防設備を選択したりと未然に災害を防ぐための業務を行っています。

### 仕事のやりがい

予防は最大の防御という言葉があるように、私が行う業務一つ一つにより市民の皆様の生活が安心安全となることに日々やりがいを感じています。

## 業務内容

「火を消す仕事」のイメージの強い消防士ですが庶務の仕事はデスクワークがメインです。車両の維持管理や、備品の整備など職員が快適に過ごせるように、まさに「縁の下の力持ち」のような業務内容です。しかし、デスクワークの最中でも、ひとたび火事や救助の事案が発生すると現場に出動します。

## 仕事のやりがい

現場で活躍する職員の「縁の下の力持ち」という信念で庶務の仕事をしていますが、職員から「ありがとう」の言葉をいただいた時はやりがいを感じます。



庶務課 庶務係 森 久志



# 坂出市消防本部

火の用心 火災・救急・救助は **119** 番